芦高新聞

発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町
6番3号

保存版

芦多祭記念祭

創造性の発表

今年も自治会最大の行事、記念祭がやってきた。

今年は、「全校生の縦のつながりを深め、全員参加の記念祭にしよう」と「芦高生のもつ創造性の発表の場」をスローガンにして準備がすすめられてきた。例年になく申し込みの多かったクラス展示や有志公演、活発なクラブ活動など、記念祭に向けての芦高生の意欲はあふれんばかりである。ここで現在決定している日程を中心に、今年の記念祭を大まかにつかんでおこう。

開幕式

自治会最大の行事記念祭は、この開幕式によって幕開けとなる。今年の開幕式も昨年同様、形式的なものにいく分かアトラクションを加えたものになる予定。尚、二十六日は午前中授業後、開幕式、デコレーション組み立て、体育祭準備という予定になっている。

体育祭

今年の記念祭のスローガンのひとつに「全校生の縦のつながりを深める」というのがある。体育祭ではこのスローガンをもとに、男女混合兄弟姉妹対抗リレーを競技に加えた。これは、一年～三年の各クラスが一組になり競争するもので、今までにはなかった新しい試みである。また今年は女子の団体種目が従来の綱引きから一年綱引き、二年風船割り、三年玉入れの学年別になった。ところで、体育祭ではやはり、デコレーションやユニホームが一番の呼び物であるが、今年はこれを審査しようということも考えられている。

クラス展示

例年になく、多くのクラスが参加申込みをしたが、教室数その他の関係から全部参加することはできないので、八月上旬から検討していたが、最終的には十九クラス参加することになった。内容は、飲食店、ゲームセンター、お化け屋敷、映画などそのクラスによって独自に行なわれる。体育祭とならんでクラス団結の場とあってどのクラスも工夫をこらした充実したものが期待できそう。

映画

今年は「第三の男」が予定されている。これと合わせてアニメーションも上映される。例年どおり多くの人出が予想されるので午前と午後の二回上映される。

有志公演

クラス展示と同様、今年は有志公演の申し込みも多く、最終的には九グループが参加することになった。内容は、フォーク・ロックなどのバンド演奏、合唱部による男声合唱など。今年は先生からの申し込みもあり、聞く価値は十分ある。クラス展示と合わせて、楽しい行事になりそう。

文化部展示・公演

記念祭の中心行事である文化部展示・文化部公演は今年も例年通り行なわれる。展示は十八クラブと二つの書記外局が参加して中館及び南館を中心に九月三十日と十月一日に行なわれる。また、公演は吹奏楽部・落語研究部・ESS部・邦楽部（以上午前中）・演劇部・ギター研究部・放送部・コーラス部（以上午後）の八クラブが参加する。内容としては、ESSの「浦島太郎」演劇部の「遠くへ行った又三郎」放送部の放送劇など。なお今年の文化部公演はルナ・ホールで行なわれる。

自治会展

執行部はこのほど、記念祭において、芦高の歴史を綴る「自治会展」企画を開始した。内容は、芦高三十年の校史を模造紙に表わしたり、優勝時のカップ、トロフィーなどの展示、芦笛（毎年一回発行、出版部編集）の展示を行なうなど、「一目でわかる芦高史」がねらい。特に、ふだんあまりお目にかかれない優勝カップや芦笛が見物になりそう。「我学び舎」の歴史を知っておくのもよいだろう。

閉幕祭

六日間の記念祭のフィナーレを飾るのがこの閉幕祭。今年も、フォークダンスやサークルダンスほか、ファイヤーストームを囲んでのアトラクションなどが予定されている。

その他

今年も、体育祭やクラス展示、文化部展示の開催日にはバザーが行なわれる。売っている物は、芦高まんじゅうに芦高せんべい、芦高タオル、記念祭ポスター、それに今年は芦高Tシャツが加わっている。芦高でしか買えない、しかも記念祭期間中にしか買えない、芦高特製の品々である。

校内装飾では、毎年恒例の正門前のデコレーションアーチが早くも完成し、執行委員会室の前で、目前にせまっている記念祭を待っている。また、クラス展示、文化部展示の教室配置図を校内三ヵ所に張り出し、当日はこれに各クラス展示のポスターを加えて、校内八ヵ所に〝案内板〟としてお目見えする予定。

また、印刷・出版では、すでにポスターが完成し、パンフレットの方に最後の仕上げに取りかかっている。今年のポスターは、黒のバックにヒトをかたどったものがならべられ、記念祭という文字と芦高を意味するAUSSという文字が白でくっきりと入れられたものである。パンフレットの表紙もこれとほとんど変わらない。

記念祭は目前にせまっている……。

招待公演

当初予定されていた「アーヨとテレマンの夕べ」がアーヨ氏の病気のために中止となった。そこでその代わりとして、サウス・サイド・ジャズバンドとシン上田&ホーボーズによる、ジャズ演奏会が企画された。

投書らん

記念する
　念願の日々
　祭祀の夜
記事多く
　念慮が必要
　祭典の報
気になるな
　年々へっていく
　　最高の日々
記された念入りポスター
　念入りポスター
　　祭主はわれら
ブラック・リベア

記念祭日程

九月二十三日（木）　体育祭リハーサル（午後）
九月二十五日（月）　文化部公演リハーサル
九月二十六日（火）　開幕祭（午後）・体育祭準備（午後）
九月二十七日（水）　体育祭（終日）・招待公演（夜）
九月二十八日（木）　クラス展示・有志公演（終日）
九月二十九日（金）　文化部公演（終日）
九月三十日（土）　文化部展示・映画（終日）
十月一日（日）　閉幕祭（夕方～夜）
十月二日（月）　代休

※二十七日が雨天の場合、二十八日と入替えになる。

クラブハウス移動
夏休み中に終わる

格技場建設のためのプレハブ校舎解体にともなって、夏休み中に東側のプレハブの各クラブが西側に移るなど、全体的に大移動した。これによって将棋・ギター研究・文芸の各クラブと剣道部女子の更衣室が西側プレハブに移り、写真部は中館に移った。西側プレハブはこれで、六教室にそれぞれ二クラブづつ入ることになり、今までよりいくぶんかきゅうくつになった。

なお、剣道部女子の更衣室は、格技場が出来次第、写真部と交代する予定。

N↑――プレハブ西側見取図

1F	2F
映研	剣道（女）
E・S・S	アマチュア無線
落研	将棋
ギター研	演劇
文芸	鉄研
史研	出版

芦笛第32号
投稿募集
刻もう君の高校時代

今年も下記要領で芦笛寄稿を募集します。

〔テーマ〕　制限なし（学園生活をテーマとするもの歓迎）
〔期限〕　11月末日まで（以後は受付けません）
〔寄稿方法〕　郵送　・部員少数のため、やむなく郵送方法をとります。原稿用紙を封筒に入れ、下記部員のいずれかへ郵送して下さい。（切手代は後日お返しします）

藤原久子　〒659　芦屋市東山町156
山本康裕　〒659　芦屋市大原町15-1
美野幾一　〒659　芦屋市業平町8-14-205

〔原稿用紙〕　400字詰原稿用紙10枚以内

㊟芦笛記載投稿選択権は出版部にあるものとします。投稿された原稿用紙はお返しできません。

Poem　俳句なども歓迎！
　　どしどしお寄せ下さい！

うらとおもて

「おはなし」の開幕式で始まり、「おまつり」の閉幕祭で終わる記念祭。

㊙　㊙　㊙

タテのつながりの反映、兄弟対抗リレー。全学年そろって一、二、三！

㊙　㊙　㊙

喫茶店、お化け屋敷、ゲームセンター…。俗世間を離れられない高校生。

㊙　㊙　㊙

準備に多忙な文化部、ひたすら練習の運動部。目標に向ってつき進もう。

㊙　㊙　㊙

また秋がやって来た。でも「惰性」ではなく、「創造」の記念祭にしよう。

裏表独語

テレビジョンは現代の怪物である。その多大な影響力に慣れてしまった僕たちは、案外そのことを認識してないみたいだ。

今や、幼稚園の子供達までが、ピンク・レディーを歌い踊ってるということは、凄いことだし、日本中の都市を均一化させるのに、一役かったのもテレビなんだから。

いったい僕らは、この途方もなく大きなメディアとの御対面にどのくらいの時間を割いているのだろう。

つい最近まで僕は、テレビを日に五時間は、見ていたと思う。

そうしているうちに、だんだんと気が付いて来たんだけど、テレビという物が人間を阿呆にするっていうのは、本当だってこと。テレビを見る事は、とっても簡単な作業であるが、往々にして、自己不在のまま時間だけが過ぎてしまう結果に陥いりやすい行為だ。

だからといってテレビなんか見るなというんじゃなくて、もっと上手に使わなくちゃってこと。

よくいうでしょう。くだらないお昼のワイドショー番組を見て時間をつぶしている人が。（まあ、そうなるのも、遠い将来のことでもないみたいですね、お嬢さん？）これが阿呆の典型例。

ところで、この日本では、ゴールデン・アワーにいったいどれくらいの人が、テレビを見ているんだろう。

一千万は、確実にいるんろうけど、恐ろしい話だね。目に五回カーバにお礼りするイスラム教徒みたいだ。

PL教ならんTV教なる新興宗教のできる要素は、今や充分だし。どう、あなたもお入りにならなくて！

やっぱり、テレビを見る時も恋愛と同じように主導権を持っていたいでしょ。

文化部規定制定まで

今年の五月末頃から検討がすすめられてきた文化部規定は、その後原案作成、文化部幹事会通過、制定と実施にむけて着々と準備されてきた。そして八月二十三日の文化部幹事会において、一部改正をもって実質的に効力を発することになった。

今回改正されたのは、第一章総則の第二条二が「決定されたことはただちに校内三ヶ所に掲示しなければならない」を「決定されたことはただちに全自治会員に発表しなければならない」に、第一章総則第二条三が「一学期ごとに規定を明らかにしなければならない」を「入学式後教日以内に当規定を載せたパンフレットを配布しなければならない」に、第三章会計の第七条一が「予算請求は各部より代議委員の予算委員会に提出する」を「予算請求は各部より執行委員会を経て代議委員の予算委員会に提出する」に、それぞれ改正された。改正理由は、第二条二については、「校内に掲示するよりもむしろ全自治会員に直接出版機関を利用してわかってもらった方が早く確実で保存がきくから」としており、第二条三については、「自治会規約同様に高校生活三年間見たい時に見て調べたい時に調べられるようにしたいから」としており、第七条一については、「原文のままでは文化部は芦高自治会とは別の存在になる。原文では〝執行委員会を経て〟がないが、このままでは執行委員会へは決算報告書は行っても予算請求書は行かないで直接代議委員の予算委員会に行ってしまう。これでは執行委員会は予算請求に対して全く知らないことになるので執行委員会としての役割が失われてしまう。つまりは文化部は自治会と別の存在になってしまう。」としている。

このように今回三ヵ所ばかり改正されたとはいえ、文化部規約制定というのは文化部初めての試みなので、まだまだ問題点は残されている。

しかしながらこれまで文化部についてはっきりした規定もなく、たとえば部の設立ひとつをとってみてもこれまではその設立の方法について必ずしも全校生が理解していなかったことなどを考えれば、文化部規定制定は大きな意味があるといえよう。

芦高新聞では、文化部規定をより多くの人に理解してもらうために、文化部長のあいさつなどを交えながら、文化部規定の始終を掲載した。

文化部長あいさつ

竹沢陽子

記念祭まで、あと残すところわずかとなりました。各クラス、クラブとも最後の仕上げに余念がないことと思います。〝創造性〟を燃焼しつくせるスパラシイ記念祭を目指して、お互いに頑張りましょう。

さて、この度文化部では、文化部規定の一部を改正いたしましたので、改めて文化部規定の全容を報告いたします。〝規定〟という名がついて、小さな文字がずらりと並んでいると、自分とはおよそ縁のない堅苦しいものだと思われるかも知れませんが、以外と自分やクラブに関係する、身近なことが書かれていたりして、おもしろいと思います。また、文化部に所属していない人も、是非一度目を通してみて下さい。文化部がどのように運営されているのか、一見自由な個人プレーのように見える文化部の活動にも、やはりいろいろな規則があり、〝チームワーク〟を大切にしながら活動しているんだということが、わかっていただけると思います。

なお、この文化部規定は、生徒手帳の自治会規約同様、高校生活三年間いつでも見たい時に見られ、調べたい時に調べられるよう、各自で保管しておいて下さい。この規定を明らかにしたことで、今後の文化部の運営がより円滑に運ばれ、活動もやすくなることを期待します。

ところで、文化部では、この六月に新しく作られた文化部規定第十八条に基づいて、副文化部長を選出しました。規定を読んでいただければおわかりのように、副文化部長は、文化部長の補佐や文化部運営委員会の運営などが主な仕事です。一口に〝補佐〟と言っても、その内容は、ちょっとした使い走りなどの雑用から、文化部長の代理まで、実に幅広いものです。副文化部長第一号の、今後の活躍を期待しています。

副文化部長あいさつ

安立宏司

この度、副文化部長になりました安立宏司です。「今の文化部に足りないものは何か」を考え、文化部長と一緒に「よりよい文化部」をつくっていきたいと思います。

文化部規定

第一章　総　則

第一条
一、文化部規定は自治会規約を基本とする。
二、この規定は文化部の活動に支障を来たしてはならない。

第二条
一、文化部規定は文化部幹事会の構成員の三分の二以上の承認により決定される
二、決定されたことはただちに全自治会員に発表しなければならない。
三、入学式後教日以内に当規定を載せたパンフレットを配布しなければならない

第二章　部の設立及び解体

第三条
同好会結成は準顧問と七名以上の部員を必要とする。

第四条
同好会が六ヵ月の準備期を経たのち特別幹事会で三分の二以上の承認がない場合は、その後同好会として再び六ヵ月の準備期を経る。

第五条
同好会の届出を執行委員会に行なったのちは代表者が幹事会に出席することを義務とする。

第三章　会　計

第六条
一般の部及び同好会に文化部予備費より補助をなす場合は幹事会の三分の二以上の承認で行なう。

第七条
一、予算請求は各部より執行委員会を経て、代議委員の予算委員会に提出する。
二、予算委員会が請求額を検討する際に文化部長が立ち会う。
三、検討の結果「否」と出た場合は問題となった部と話し合いにより決定する。

第八条
予算委員会が検討した際、多くの部が「否」となりかつ和解が成立しなかった場合（第七条三が決定しなかった時）文化部の共倒れを防ぐために予算委員長と文化部長により各部割当てを決定する。なお各部の予算割当額発表の際文化部長が前以てそうなるに至った理由を一言「文化部長の名において予算委員長より出される各部最高限度の予算分配案を提出する。」と言わなければならない。

第九条
自治会規約第四十三条に基づき予算の分配を決定する

第十条
一、部報などを発行する場合は文化部予備費よりその費用を補助する。なお発行物を当幹事会に出席している部にわたせるだけ前以て提出し費用を最小限にすることを義務づける。場合によっては一部しか補助しない場合もある。
二、予備費より出された額は次の幹事会において発表する。
三、同好会においては第六条通り幹事会の承認が必要である。

第四章　その他

第十一条
部がその名称を変更するには幹事会の承認が必要である。

第十二条
一、公演・発表を記念祭以外で行なう場合校内・校外にかかわらず速やかに文化部長に届け出なければならない。
二、公演・発表が済みしだい文化部長に結果を報告しなければならない。

第十三条
合宿を行なう部の日数は原則として二泊三日とする。

第十四条
クラブ活動は五時までに終了し五時十五分までには校外に出ることを原則とする

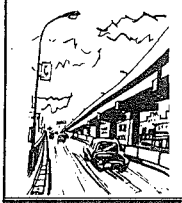
第十五条
一、他の部の活動を妨げることのないように義務づける。万一妨げられた部がありかつそれが重大な問題である場合には速やかに文化部長に届け出る。届けられた問題は次の幹事会で報告する。
二、いかなる場合にも校舎及びクラブハウスを損傷させてはならない。
三、部の活動は授業を妨げてはならない。なお使用教室の清掃を忘った場合も含める。

第十六条
一、原則として罰則は定めないが場合によってはそれなりの罰がある。
二、第十五条においてはそれなりの罰を与える。

第十七条
一、文化部長より提出命令のあったものは提出期限までに必らず提出しなければならない。
二、執行委員会やその他から指示があれば必ずそれに従わなくてはならない。なお反論の権利がある。

第十八条
一、副文化部長を毎年文化部長決定と同時に文化部員より選出し幹事会で決定する。なお文化部運営委員との兼任も可能。

第十九条
一、文化部運営委員会を文化部員より募集して設立する。なお文化部長はその任期が来ると同時に運営委員になることを原則とする。
二、運営委員は文化部の発展のために運営していくことを義務づける。
三、運営委員会には決定権がないことを原則とする。



文化部運営委員募集

―文化部躍進へ向けて―

近年、文化部の活動は、記念祭を除き停滞し、その状態が今や慢性化しつつある。

この事態を打ち破るためには、文化部員個々のレベルにおいて、熱意と創作力をもって模索を行なわねばならない。

ここに一つの方法として広く自治会員に意見を求めてゆこうと思う次第である殿上人のみの行政でなく広い意味での文化部員、自治会員の参加する文化部活動こそ理想ではなかろうか。

そこで、志を持つ者による組織を作り、文化部に新風を吹き込もうではないか！文化部運営に全員の意見の反映を！

（文化部運営委員会活動内容）

①本委員会は、文化部全体の発展向上のためにつくすことを第一とする。

②本委員会は、文化部長の要請に応じて召集される

③本委員会は、文化部活動を円滑かつ活発化させるため、種々の提案を幹事会（部化部長）を通して提出する。

④本委員会は、文化部長の要請に応じて文化部運営事務の補佐をする。

⑤文化部幹事会との関係―本委員会は、文化部活動を外部より刷新し、活発化するためにある。しかし、真に改革を行なうのは幹事会自らである。このため、本委員会には議案議決権に有さず、文化部幹事会には干渉しない

藤田前文化部長の話もし君が、今の文化部に少しでも意見があるなら、もし君が文化部に対して君自身の理想をもっているなら運営委員会に入り、それを一つでも実現させよう！

受験勉強は親切な学研版で

使いやすい人気学参　ナウな高校生総合誌

●学力と知性をたかめる
高1コース　毎月14日書店発売

●学力を伸ばし進路を決める
高2コース　毎月14日書店発売

●新課程入試突破めざす
大学受験 高3コース　毎月14日書店発売

●正確な情報で志望校が選べる
大学受験 高3コース　春・夏・秋・冬 臨時増刊

＊授業に役だつ学年別カラー学参
高校ベストコース　大好評発売中

＊信頼できる大学受験用新書判
新書学参 コースBOOS　大好評発売中

ココがねらわれる／英単語・英熟語・英文法・和文英訳・古文単語・入試漢字・世界史年号・事件日本史・数Ⅰ・ⅡB・暗記数学・化学反応式・物理解法
受験情報PACK／どの大学がはいりやすいか・医歯学部受験術・早慶受験術・この学部学科をねらえ
入試突破新学習法／プラン受験術・やる気楽勉術・入試英語こわくない・入試数学こわくない

学習研究社販売局
03(720)1111振替東京142930